

地域協働学専攻 ディプロマ・ポリシー

地域協働学専攻は、地域創生を推進するために地域が必要とする3つの課題を解決できる地域協働リーダーを育成することを目的とする。3つの課題とは、(1)地域創生の持続可能性を実現するために必要な地域協働リーダーの後継者を養成すること、(2)地域協働リーダーにおいて地域創生の推進に必要な地域長期ビジョンを地域住民とともに策定する能力を育成すること、(3)地域における新たな資源開発と市場開拓を進めて経済面から地域の持続可能性を高めることである。

育成する人材は、「地域理解力」、「企画立案力」、「協働実践力」をあわせ持った「地域協働リーダー」が、上記3つの課題解決を可能とする高度な専門知識を身に付けることでその機能を高度化させた人材である。

本専攻におけるディプロマ・ポリシーは以下のとおりである。

【知識・理解】

- ・地域の長期ビジョンの策定や地域資源の開発に活用できる、第一次産業、地域の健康・福祉およびコミュニティに関する知識を中心に、地域の産業および生活・文化に関する幅広い専門的知識を身につけ、そのうち複数について深めている。あわせて、こうした知識を活用し社会的課題に対して適切に判断・対応する力や、課題を主体的に探究する姿勢を有している。
- ・地域における協働的学びの組織化に必要な、地域協働実践に見られる「学び合い」「高め合い（育ち合い）」「讃え合い」の関係における人間の成長と発達に関する専門的な知識及びその支援のあり方に関する専門的な知識を身につけている。また、地域の多様な価値観と関係性の中で倫理的な配慮をもって協働的に学ぶ態度と、研究活動における倫理意識を備えている。
- ・地域の長期ビジョンを策定し、それを地域関係者に対して説明・説得するために必要な地域計画、地域政策、地域産業、地域福祉、コミュニティデザインに関する専門的知識を身につけている。
- ・新たな資源を開発し市場開拓するために必要となる地域資源管理、里山管理、6次産業化、社会事業に関する専門的知識を身につけている。

【思考・判断】

- ・地域関係者の状態を的確に把握し判断して地域における協働的学びを組織できる。・地域の問題を総合的に判断して、解決に向けた地域の長期ビジョンを策定し、地域関係者に説明・説得することができる。また、社会的課題に対する多角的な視点と課題探究力を発揮しながら、論理的かつ実践的な思考により方策を構想できる。

- ・市場の動向を的確に把握して地域の実情との整合性を判断して、新たな資源を開発し市場開拓することができる。

【技能・表現】

- ・地域における協働的学びの組織化に必要なファシリテーションや合意形成の技法を身につけて活用することができる。あわせて、異なる専門分野の研究者や多様なステークホルダーとの対話において、自身の考えや研究成果を的確に伝えるためのコミュニケーション力とプレゼンテーション力を有している。

- ・市場開拓に必要なマーケットリサーチ、デザインの技法を身につけて活用することができる。さらに、調査や分析の成果を多様な立場の関係者にわかりやすく提示・共有する表現力を備えている。

【関心・意欲・態度】

- ・地域と地域を取り巻く環境の変化に日常的に関心をもち、変化に対応して長期ビジョンを改善しようとする。その過程において、自らの専門性を活かした役割を見出し、主体的に果たそうとする態度を有している。

- ・環境や状況の変化にともない生じる新たな課題を解決するための協働的学びを企画、実施しようとする。また、課題解決に向けてチームの中でリーダーシップを発揮しながら、自他の役割を尊重しつつ取り組む姿勢を備えている。

- ・地域協働リーダーの後継者養成の意欲をもって、活動参加者に向き合い、リーダーへの成長をファシリテートしようとする。

- ・市場の動向に常に関心をもち、豊富な情報を収集して、新たな市場ニーズを見出して、地域資源の開発や市場開拓につなげようとする。

【総合・働きかけ】

- ・地域内及び地域を取り巻く環境に関する豊富な情報を収集し、習得した複数の専門的知識を活かして、地域長期ビジョンを策定し、環境や状況の変化に応じて柔軟に改善することができる。さらに、自身の研究と地域の社会的・地域的課題とのつながりを見出し、その解決に向けて異なる専門分野の専門家と協働し、課題解決に導く力を備えている。

- ・地域関係者の状態を把握し、適切な協働的学びを継続的に企画、実施して、地域関係者の合意形成を図り、長期ビジョンの実現に向けて活動の持続可能性を高めることができる。

- ・市場の動向を幅広く把握、分析して、新たな市場ニーズを発見し、それを地域イノベーションにつなげる資源開発や市場開拓を地域協働によって実現することができる。